

令和6年第1回議員定数等調査特別委員会 要点記録

開閉会日時	令和6年4月16日（火曜日）			開会	9:56		会議場所		別海町議会 委員会室 1	
				閉会	11:10					
委員の出欠	1 番	市川 聖母	出席	2 番	吉田 和行	出席	3 番	高橋 眞結美	出席	
	8 番	田村 秀男	出席	9 番	小椋 哲也	出席	11 番	今西 和雄	出席	
	12 番	松原 政勝	出席	13 番	中村 忠士	出席				
委員外の出席	議長		西原 浩					合計	1 名	
事務局職員	局長		干場 富夫	主幹		木幡 友哉		合計	2 名	
傍聴者数	一般		0名	報道関係者		0名		合計	0名	

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過
委員長 12番 松原	09:56 開会 出席委員8名、欠席委員0名、委員外1名、会期1日 開会挨拶 議事1 調査の進め方及びタイムスケジュールについて ・資料1～9により、今回の調査項目及び前回の同特別委員会で使用した資料の内容等について説明 今回の調査項目は①議員定数に関する事項、②議員報酬に関わる事項、③常任委員会の委員会数や名称、所管事項等に係る事項、④その他議会活性化に資する事項（以下①～④の数字のみで表記する。）となっている。 ④については、資料に一例をあげているが、具体的内容は今後本委員会で決定していくことになるかと考える。 ・平成25年度当時の資料に掲載されている数値等は委員が調べ作成したのか。 ・北海道議長会が取りまとめている実態調査資料から抜粋して作成している。委員が調査する必要はない。 ・今後、議員個々の活動内容を調査していく必要があるのではないかと考えている。 ・報酬を決めるにしても、政務活動費を決めるにしても、それぞれがどの程度の時間、議員活動をしているのかを把握していなければならない。 全国平均に対して何パーセントだとかという決め方はしたくないので、1年間は把握していきたい。そのためには様式を定め、毎月報告をもらい実績を積み上げていきたい考え。 それを算定根拠とするかは議論すべきところだが、実態把握は根拠資料として必要になる。 ・私も議員個人の活動のボリュームを把握し、それを中標津さんのように「掛ける単価」みたいな形で結びつけるのかは議論だとは思いますが把握は必要と思う。その際にこういう委員会などの公務と公務に付随する準備、それ以外にも今後の政務活動費に関わってくると、個人の政治活動の中で質を高める部分や、先進地の視察を個人で行ってそれを将来的に反映するような部分も、直接公務とは関わらないが調査しておいた方が良い。その辺がもし政務活動費を出すとなれば範囲に入ってくるので、その辺は項目を分けながら、何時間というわけではなくて、公務は把握できるので、「公務の準備」、「研修・視察」など、政務活動に関わるものとして色分けしておいた方が良い。
局長 干場	
委員長 2番 吉田	
局長 干場	
委員長 12番 松原	
副委員長 8番 田村	
委員 9番 小椋	

令和6年第1回議員定数等調査特別委員会 要点記録

委員長 12番 松原

委員 8番 中村

議長 16番 西原

・各委員が了承するならば、1年間の毎月の議員活動の調査を進めていきたいと考えているがいかがか。

・大筋で合意だが、手順としては調査事項の選定が先ではないか。特に④については、資料で例示はされているが、決定していない。

また、議員活動の調査は、本特別委員会の権限として決定することはできるが、全議員が理解、納得できるような配慮が必要ではないか。

・調査事項の抽出が一番にやるべきことかと思う。特に④については大枠しか決まっていないので、その中で何をやっていくのかが課題となっている。前回の特別委員会の後、活性化計画を立てた際には、特別委員会ではなく議会運営委員会で活性化を進めていこうという流れの中で、第1期、第2期活性化計画を策定。そして今期の第3期活性化計画に関しては、活性化計画は特別委員会を作ってやっていこうという流れがある。

「資料9」を見ていただきたいが、9ページから資料が付いているが、「PDCA」に落とし込んで、各活性化項目というものを出している。

活性化計画の中の取組項目について、できていることとできていないことがあり、これは広報公聴常任委員会で進めるのか、議会運営委員会で進めるのか、本特別委員会で進めるのかを振り分けする必要がある。当時作ったもので、まだ今の現実と合っていない部分として議会基本条例の制定後の動きで、一般質問検討会議の充実があるが、一般質問検討会議からの委員会調査への連動という部分がこの中では明確にされていないということで、活性化計画を立てたが各年度の実施計画に落とし込まなければならない。

年度ごとの実施計画に落とし込むためにも、本特別委員会で進める項目を抽出し、揉んで欲しいというのが私からの諮問する中身としての活性化計画で、どこをやるかっていうのをこの特別委員会の中で協議して活性化計画を進めてほしい。活性化計画は、広報・広聴でやらなければならない部分もあるし、議会運営委員会でやるものもあるし、この特別委員会でやるものも決めているので、それを抽出して、その中でどういう進め方が必要なのかを順番に、タイムスケジュールでどこの部分をやるのかをアンケートを含めてだそうが。

また、前回の議会運営委員会で出た話だが、別海町議会基本条例の年に1回の点検作業時のアンケートについては、本特別委員会でもアンケートを行うことが予想されたので、その場合、同様のアンケートを2回実施することになることから、本特別委員会で1回でやった方が良いのではないかとこのことで先送りしていた。

ボリュームが大きいかもしれないが、その部分についても本特別委員会で協議して進めて欲しい。

委員長 12番 松原

・中村委員、議長から話があったことについては、今回は深く入らずに、資料にあるとおりの内容を大枠として進めていくことで良いのかという確認をした上で、今後調査項目をひとつずつ絞って協議していきたいと考えていたところ。

副委員長 8番 田村

・中村委員の話はそのとおりだと思うが、議員活動の調査については、①～③までの決定事項の協議のために必要で、先行して動かないと間に合わないと考えてのことである。

また、活性化計画を見直すということ、設置期間が2年と決まっている

令和6年第1回議員定数等調査特別委員会 要点記録

		本特別委員会で行うとは思っていなかった。設置目的外のことは引受けできない。
議長	16番 西原	・④の内容には、活性化計画も含まれているため、引き受けられないとはならない。
		第3期活性化計画は議会運営委員会と広報・広聴常任委員会と本特別委員会とで担っていくこととして計画している。
委員	9番 小椋	・齟齬の生じやすい部分だと思うので、整理して伝えと、第3期の活性化計画を本特別委員会で全部やるということではなく、活性化計画の中で④に含まれる事項として扱える部分があればピックアップして扱おうという話である。
委員	13番 中村	・設置目的から外れた運営はあり得ない考えるので、そのことを踏まえて細かい部分を整理してほしい。
		また、スケジュールなど、決められるところから決めていくことが良いのではないかと思う。
副委員長	8番 田村	・進め方は①～④に関して協議を行うということ。そのうち④についてはアバウトな部分があるが①～③については重点項目となっている。
		④について、資料で例示したもの他に入りたい項目があれば、今この場ですぐには無理だと思うので、次回までにタブレットを使って意見を出してほしい。
		そうすればスムーズに議論できると思う。
委員	9番 小椋	・私の理解が正しいか確認の意味も含めてまとめると、①～③は確実に行う事項で、これらに関することについては、動ける部分は活動時間の調査も含めて動き出す。また、④については、次回までに各委員が必要と思う事項をタブレットで上げていき、次回会議時にその内容を整理していくという理解でよろしいか。
委員長	12番 松原	・そのようにしたい。
委員	1番 市川	・開催頻度はどう考えているか。
委員長	12番 松原	・毎月1回の頻度で開催したい考え。場合によっては2回もあるかと思う。
委員	9番 小椋	・仕事を持っている委員もいるので開催日はひと月前には決めていただきたい。また、可能な限り複数会議を同日に集約してもらえると助かる。
		・次回は5月16日を予定していた。
委員長	12番 松原	・5月17日の臨時会後が良い。
委員	一同	・各委員の要望を踏まえ、5月17日の臨時会終了後を予定したい。
副委員長	8番 田村	・周辺自治体の情報は参考になるので、資料3のような内容で最新版を用意していただけるか。また、でき次第に早めに共有してもらいたい。
委員	9番 小椋	・用意する。
局長	干場	・最近まで中標津町が議員定数に関する特別委員会を設置していたので、6、7月頃に話を聞きに行きたいと考えているが、いかがか。
委員長	12番 松原	・中標津町も選挙があるので早めに行ったほうがいいと思う。また、事前に提供してもらえる資料があればありがたい。
委員	9番 小椋	・日程や資料については、事務局から確認し調整する。
局長	干場	・④について、必要と思う事項をタブレットで提出してもらい次回協議する。他に先行してやらなければならない事項や必要な資料は事務局と調整して示していくことでいいか。
副委員長	8番 田村	

令和 6 年第 1 回議員定数等調査特別委員会 要点記録

委員長	12番	松原	・その流れでいい。 ・各委員も示された資料を事前に検討し、意見を持ち寄って常に前に進める姿勢で。 ・次回は各委員の意見を踏まえ、5月17日に決定する。 閉会挨拶 11:10 開会
委員	11番	今西	
委員長	12番	松原	
委員長	12番	松原	